

どう活用する？

どう広げる？

どう改革する？

# 無料低額診療

## を考える フォーラム

### 2018年1月14日(日)

13時30分～16時30分 (13時開場)

大阪なんば M&Dホール (大阪市浪速区幸町1-2-34)

資料代500円  
申し込み不要

お金がなくても医療にかかれる無料低額診療事業。貧困が広がり、高い国民健康保険料、重い自己負担に苦しむ人が増える中、その役割は大きくなっています。

この事業を行う医療機関は、生活に困っている人の医療費を一定の基準で減免し、ソーシャルワーカーによる支援を行います。一方で固定資産税、法人税の減免を受けられる仕組みです。しかし、事業があまり知られていない、薬局に無料低額事業がなく院外処方薬がかさむ、もともと非課税の公益法人は費用の持ち出しになるばかり、といった課題も多々あります。生活困窮者向けの医療支援制度として位置づけては、という意見もあります。

事業を活用し、広げるには何をしたらよいか、もっと使いやすくするために、どんな制度改革を行うべきか。率直な意見を出し合ひましょう。

#### <プログラム>

##### ▼無料低額診療事業とは？

(奥村晴彦・大阪社会医療センター附属病院)

##### ▼無料低額診療のあり方の論点整理

(吉永純・花園大学教授)

##### ▼近畿の無低医療機関へのアンケート結果

##### ▼現場からのレポート・声(予定)

- ・大阪府保険医協会(貧困の実情)
- ・社会福祉法人の病院(大阪)
- ・民主医療機関連合会(京都)
- ・歯科の診療所(兵庫)
- ・無料低額診療の利用経験者

##### ▼会場を交えたフリーの意見交換



◆会場アクセス JR難波駅から徒歩3分。  
地下鉄なんば駅、近鉄・阪神の大阪難波駅から徒歩5分、南海難波駅から徒歩8分

主催 無料低額診療事業近畿研究会 (代表・吉永純)

事務局=京都保健会 TEL 075-813-5901 FAX 075-813-1721